

# げんきっこ

NO.10  
2011.2

岐阜聖徳学園大学附属幼稚園

暖かな春の日差しが少しずつ感じられるようになってきました。気がつけば子ども達と植えたプランターのチューリップが可愛い芽を出し始めました。私達に「もうすぐ春だよ」と教えてくれているようです。いよいよ今年度も残り少なくなり、年長さんとのお別れが近づいてきました。卒園式の歌を練習しながらほろりと涙がこぼれ、感傷的になる子もいます。集団生活で初めて経験する別れを子ども達はどのように受け止め、次へのステップにしてくれるのでしょうか。卒園の日まで悔いのないよう過ごしていきたいと思います。

そして、ひとつ進級する年中、年少さんの姿もずいぶん遅くなってきました。大きい子に憧れを持ちながら、自分の力でできることが増えてきました。どの子も確実に一步一步成長しています。最後の3月は一年の締めくくりとなるよう様々な活動に取り組んでいきます。健康には十分気をつけて元気に登園してください。

## <子どもの姿>



おはしの約束を守って避難訓練に参加しました。劇団「わっふる」の人形劇に子ども達は大喜び！



最後のみみちゃんクラブで90組の親子さんを前にオペレッタや合唱を披露しました。



小学校のお茶会に年長さんが招待されて初体験！！年少さんが柳津町福祉センターを訪ねました。



## <お母さんの子育てメモ>

### 「先祖を尊ぶ」

三宅 圭子

先日、子育てには先祖を大切にすることも必要だというお話を伺う機会がありました。子育てに関してのお話は今までも聞いたことがありましたが、ご先祖との結び付きという切り口は初めて。興味津々でした。

親は子どもだけに日々一生懸命に目を向け大切に育てつつも、自分の両親やご先祖を蔑ろにしていると子どもの成長段階のどこかで行き詰まったり、心の成長がうまくできなくなってしまうというお話でした。先生の娘さんもまっすぐではなく、少々曲がっているんな壁にぶつかりながら成長されたようです。誰でも多感な時期もあり、反抗期もあり、それは人間の成長に必要不可欠なのです。が、彼女の場合、高校生時代はそんな生易しいものではなかったようです。

そういった時期に助けてくれたのがおじいちゃん、おばあちゃんの余裕の愛情だったそうです。核家族化が進む日本では、おじいちゃんやおばあちゃんに頻りに会うことは難しい方々も多いと思います。私は電話や手紙などでコミュニケーションをとるのも良いと思いました。

先生は家族の成り立ちを1本の花に例えられました。根は祖先、葉と幹は両親(私達)、花は子ども。美しい花を咲かせるには太陽や水の他、肥料も与えませんが、肥料はどの部分に蒔きますか？と私達に質問されました。答えは根元。私達の源も祖先がいたからですが、なかなかできないのが親孝行とお墓参り。当たり前になさされている方々も多くいらっしゃるのですが、私はお墓参りはおろか、生存する母とたまに会っても喧嘩ばかり…。義父母にもお世話になりっ放しで孝行はできていません。非常に考えさせられ、また納得したお話でした。親の姿を見ている子ども達が大人になった時、自然に年寄りに優しくでき、仏壇に手を合わせられる事を願いながらも少しでも実行していこうと思いました。

最後になりましたが、入園当時恥ずかしそうに紙おむつを通園カバンにしのばせていた息子も、数週間で卒園です。3年間大垣から園までの2往復で約40kmを送迎しました。皆さんによく「遠い所から大変ね」と言われましたが、一度も面倒だとは思ったことがありませんでした。車酔いしながらも、毎日の登園を楽しみにしていた息子のお陰です。

息子のためなら えんやこら～ ですね。そして、そんな息子を毎日楽しく過ごさせていただいた先生方に感謝します。



子

親

先祖



## 娘と共に過ごした幼稚園生活

日比野 美穂

早いもので娘もあと数週間で卒園を迎えようとしています。入園したのがつい最近のように感じられますが、あっという間の3年でもう年長を終えようとしています。

入園した頃は「一人でバスに乗れるだろうか。」「幼稚園に行くのを嫌がらないだろうか。」など心配もしていましたが、いざバスが来ると「いってきます！」と喜んで手を振っていて心配しているのは親だけなんだ。と成長していることを感じると嬉しくもあり、少し寂しいような気もしました。

つい先日の生活発表会でも年長さんの歌、劇はとてすばらしいもので去年より、一回りも二回りも成長していて感動しました。クラスみんなが一丸となり劇を作り上げた様子は、さすが年長さんだと思いました。生活発表までの当日は「ちゃんと劇ができるのかな?」「歌や楽器は大丈夫かな?」と思うこともありましたが、本番では練習の成果を出し切ることができてとても良かったです。そこに至るまでの先生方の努力がとても感じられました。

我が家は、長女の頃から附属幼稚園にお世話になり、下の娘で8年間幼稚園に通いました。その間、私自身も役員、執行部などをやらせていただき、園には色々関わって親子共々楽しく過ごさせていただきました。娘と一緒に幼稚園を卒園するのが寂しいです。附属幼稚園の子ども達の自主性を大切に、伸び伸び生活している子ども達を見てはとても感謝しております。園長先生始め、先生方、保護者の皆さん、とても良い環境で子どもを過ごさせて頂くことができ充実した3年間を送ることができました。

年長のみなさんは残り少ない幼稚園生活ですが、たくさん思い出を作してほしいと思います。



## <保護者会から>

今学期はクッキング教室・交通安全教室・フラワー講座・資源回収を無事に終えることができました。皆さまのご協力に感謝いたします。現在、活動集「やまびこの木」を作成中です。3月8日の最後の役員会で完成し、中旬頃に配布させていただきます。

芝生の園庭東の花壇には花の苗を植えて、新学期に備えたいと思います。

